

VOC 排出インベントリ発生源 24 項目に拡大 環境省



環境省の「揮発性有機化合物(VOC)排出インベントリ検討会」は12月4日の第2回会合で、インベントリの発生源に新たに「排気ガス」や「農薬・殺虫剤」など15項目を追加し、これまでの9項目から24項目に拡充する改訂案を了承しました。

既存の9項目は固定発生源の主要なものをカバーしていますが、米国やカナダなど諸外国の排出インベントリと比較すると今回拡充される「排気ガス(燃料の燃焼)」や「農薬・殺虫剤」など、発生源としての寄与率が高いものが含まれていないことから今回新たに15項目の追加となりました。

対象範囲は、規制や自主的取り組みで抑制することが比較的容易な固定発生源とし、土壌などの自然発生源や自動車などの移動体は対象外としました。ただし、PRTR データなどで補足できるものについては可能な限り推計するものとしています。

今後は、各分野の協会・業界団体などと連携し、既存データとの整合性や推計手法の検討に着手し、推計方法や推計結果および検証方法などを改訂インベントリ報告書としてまとめ、今年度内をめぐり中環審 VOC 排出抑制専門委員会に提出し、同委員会では対象事業者の拡大など今後の規制強化につなげる方針です。

当社では VOC 排出抑制及び PRTR 法対象物質の分析も行っております。お気軽にお問い合わせください。

資料 2006年12月4日付 環境省 HP
2006年12月5日付 化学工業日報

機器分析箇所 関 善行